

黒土に挑む火の熱意

郡下の集團歸農の成績良好 來秋迄には全豫定地開拓か

逼迫せる食糧事情に主産増産を誓つて郡下に入植した集團歸農者は終戦以來、十日現在で三百二十戸、この開拓面積九十四町二反と云ふ好成績を擧げてゐる、何れも土に生きようとする開拓者の熱意は物凄く當局を感服させてゐるが、地方事務所側でもこれ等歸農者の受入れに萬全を期して居り、受入豫定の六百七十八戸の歸農者に對しての開拓面積二百九十九町も現在の三百二十戸の歸農者が一丸となつて土に挑めば來秋までは全開拓地開拓の目標がついた、なほ入植者は田入村の九十五戸を筆頭に左の如く大半の町村に入植してゐる。

泉村九、渡邊村一、植田町九、山田村二、錦町四、勿來町一、上遠野村九、入遠野村二〇、川部村五、田入村九、夏井村一、鹿島村五、内郷町二〇、永戸箕輪村五、澤渡三、阪村五八、大野村五〇、上下小川村五、川前村一九、平市三、計三百二十戸

泉日農青年部の美舉

驛から萱手への道路改修奉仕

泉村小山の日本農民組合の青年部では、同村驛から萱手へ行く道が非常に悪路で衆人が常に困却して居る實情に鑑み、刈入れを前にして多忙な中を佐藤友見君を中心として二十名が協力、水戸鐵道管理部長から炭粕を拂下げて貰つて、毎朝、朝食前を利用して道路修理に大奮となつてゐるが、既に一週間で約三分の一を改修あと十日程で完成するが、無言の實行として同村民から非常に感謝されてゐる。

設樂風流課長を送る

石城地方事務所の開闢以來事務の問題で度々訪問し意見の交換課長として赴任し伊藤初代所長などをやり公的の面に於てのみ、本領現所長の許に明快なる頭腦、知人たりに過ぎなかつたが、本と厚利なる怪腕とを識して常に二年二月僕が町會補欠選挙に出馬不得要領の裡に終始したる設樂風流の苦心を嘗めた、其時に英男君は、去八日の發令で官界一葉の端書を寄せ來たる俳人が勇退するに決定し、知己友人あつた俳句は

雲悠々流れ去りたる餘寒かな
五年間を思ふ短歌と更に遺語深
き俳句とを寄せて來たのを手に
した。

僕が君を知るに至つた日は實に
浅い去十九年五月頃助役問題で
事務所を尋ね伊藤所長に面會せ
むとせし時が初對面であつた。僕は當時の環境から一絶

靖國神社 合祀英靈

去る四月靖國神社に合祀された英靈の氏名が福島地方世話部から市役所へ通知が入つたが市内関係英靈の氏名は左記八氏

山島忠勝(故兵長、才拙小路)

優秀シン

シンガ、國産、各種新古油、各附屬品、修理迅速引受

平磯前事務所トナリ

大和屋シン

開

投書を歓迎す
要望批判結構
紙名匿名可

新商工會議所に望む

商工經濟會議所が解散となり新商工會議所として發足する事を聞き非常なる期待をかけた一人として望む事は、先づ準備委員(世話人)の顔ぶれが舊體依然として商工經濟會議所の役員連中であつた事は失望させられた。新發足を期に老人連の引退と若手の進出を切實に御禮を申上て置いた即ち

望する。現在の商工青年には進んで世の爲に働かうとする氣概が或る一部の人を除いては皆無の様に思ふ。舊商工經濟會議所は商業經濟會の方が看板として適當に親しまれる民主的な開放も心考へる。この爲には廣告研究會の仕事を手傳ふが、これが實は

視力試験設備が有ります
眼鏡専門
玉屋
目丁二市平
各眼科醫指定
開店お知らせ

映畫紹介
一、品作竹松
を何はム一オ
かたいぞの
て館平らか日明

【配役】
崎：佐分利
井：森川
瀬：山路
義人

この會は非常に期待してゐる。大團圓、しかも、その總元給が及んで、心の正義感が爆發した。ビルディングの地下室で彼は忠告して容れられず、血みどろになつて赤井は黒潮にぶつかつて行く。そのビルディングの建築設計で、たま〜居合はせ

花枝と云ふ親切な娘と知り合ひ其家の二階に借住する。建築科での白崎は、焼け跡のビルディングを何とか戦災者たちの集團住宅にする計劃を立てて走り廻る。

一方赤井は、誘はれて昔仲間の仕事を手傳ふが、これが實は

終戦時の下サクサマぎれに思

白崎と赤井は、思はぬ事件で再會すると、一別以來の話を交し

流しはじめた。「あつたあの人だ

「節子さんだ」二人は、馬場町

の大坂放送局へ走る。かくて節

の心も結ばれた。赤井と花枝も

いつか愛し合ふ仲となつてゐた

ビルディングを改装した戦災者

集團住宅アパールの隣り同志

白崎と節子、赤井と花枝、二

組の新婚夫婦が住まふことにな

つた。節子がいつか愛した愛の言

葉で、二組の接吻を祝した。

舟心老いし身祖母に捧げん
以上であつたが一語三嘆せざるを得ない。僕は君を官界から送るの詞として左の如き拙吟を贈るつてお禮の言葉に代へた。

澤及黎氏和菜色。恩枯枯木盡歌
萌芽。麟附上留功績。解綬悠々師故家。(小名濱野生)

現場監督：日下部龍馬
シヤズ演奏：愉快な六人組

★梗概★
終戦近き頃九州の某海岸を背にした山中に高射砲陣地がある。應召によつて此地に配属された二等兵白崎と赤井は、封建的な軍制主義者の黒潮隊長に苛められる。大學出の白崎、のんき者の赤井は、いつもこの鐵砲の對照物にされてゐたが、あの日、慰問團の來た時、歌手や踊り子たちが酒間の舞臺までさそつたとする態度に忠告した白崎は、黒潮隊長完膚なきまでに蹴られる。たまりかねた白崎は、赤井の止めるも聞かず、隊長を蹴り返さ

書畫骨董 古美術
貴金屬 寶石
時計 衣類 其他
高價買入れ
平市南町平箱四隣
中央會館

高價買入マス
茂木カノラ店
平市三丁目